

東海国立大学機構 名古屋大学
言語教育センター 日本語教育部門、および
グローバル・マルチキャンパス推進機構 G30 日本語プログラム非常勤講師の公募について

1. 募集職名 非常勤講師

2. 所属・就業場所

【雇入れ直後】東海国立大学機構 名古屋大学 言語教育センター 日本語教育部門、あるいは、グローバル・マルチキャンパス推進機構 G30 日本語プログラム

【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する就業場所

3. 職務内容

【雇入れ直後】

- (1) 本学の留学生・外国人研究者等に対する初級～上級の日本語教育
- (2) 上記授業運営に関わる諸業務（教材・テストの作成・採点、会議・打ち合わせ・FD研修会への参加等）

【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する業務

4. 募集人数 若干名

5. 応募要件

- (1) 修士号以上の学位を有すること（2026年3月までに修了見込の方を含む。なお、日本語教育に関連した研究領域であることが望ましい）。ただし、2026年4月時点で、名古屋大学に在学予定の方は応募できない。
- (2) 大学、日本語学校等の教育機関で、1年以上の日本語教育経験があること。
- (3) 日本語教育領域に関連する研究業績を有していることが望ましい。
- (4) 各コースのコーディネーターの指示に従い、コースまたはクラスに必要な業務を担当できること。
- (5) チームティーチングを行うため、コーディネーターや他の担当者と協調して働くこと。
- (6) 月曜日の2限（10:30～12:00）または3限（13:00～14:30）の時間帯のいずれかで授業が担当可能なこと。

6. 提出書類

- (1) 履歴書（写真付き、様式自由）
- (2) 日本語教育に関わる教育歴一覧（科目、役割、期間を明記すること）
- (3) 研究業績一覧
- (4) 教育、研究に関わる主要業績1点（コピー可）
- (5) 志望理由書（1000字程度）
- (6) 応募者に関する意見を聞くことのできる推薦者1名の氏名と連絡先

7. 給与 時給 6,000円

8. 任期

2026年4月10日～2027年3月31日。

再応募により2029年3月31日までを限度として年度単位で更新の可能性がある。

※ただし、東海国立大学機構（名古屋大学）に当初雇用された日から通算して3年を上限とする。

9. 面接等

書類選考のうえ、二次選考として面接を行う。書類選考の結果は、1月下旬頃にメールにて知らせる（面接対象者は1月上旬頃にメールで連絡）。面接はオンラインによる面接の可能性もあるが、面接の方法については対象者に個別に連絡する。（ただし、対面での面接を行う場合、交通費は自己負担とする。）

※面接日：1月中旬を予定

10. 応募締切 2026年1月5日（月）17時00分（必着）

11. 応募書類送付先等

名古屋大学教育推進部基盤運営課

kiban-jinji(a)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(a)を@に変えてください

6の（1）～（6）の書類をPDF形式でメール送付いただきますようお願いします。メールの標題に「日本語非常勤講師募集への応募」と明記してください。メール送付後1週間以内にこちらから受領のご連絡をいたします。返信がない場合は、お問い合わせください。

12. 問い合わせ先

名古屋大学教育推進部学生交流課

iess3(a)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(a)を@に変えてください

13. 備考

- (1) 提出書類は返却致しません。
- (2) 採否理由の問い合わせにはお答えできません。
- (3) 言語教育センター、およびグローバル・マルチキャンパス推進機構の非常勤講師の定年は65歳です。
- (4) 提出書類は採用選考業務のみに使用し、その他の目的には一切使用いたしません。
- (5) 受動喫煙防止措置として原則としてキャンパス内は喫煙禁止です。